

## 参考資料

---

1. 令和4年度補正予算案(地域交通「リ・デザイン」関係)
2. 他省庁等の地域交通に関連する補助金等について
3. タクシーの利便性向上の取組例

# 参考資料1

## 令和4年度補正予算案(地域交通「リ・デザイン」関係)

---

# 地域公共交通関係

○ 今後、ポストコロナ時代の急速な社会構造の変化に対応して、「交通DX」、「交通GX」、官民・事業者間・他分野との「3つの共創」により経営効率化・経営力強化を図る取組や、観光と連携した取組等に対して支援を行い、利便性・持続可能性・生産性が向上する形で地域交通の再構築を図る。

## 総合政策局計上分 (415億円)

### 1. 地域交通再構築関係

#### ● 交通DX・GXによる経営改善支援

地域交通事業者によるDX・GX等による経営効率化の取組や、旅客運送事業者の人材の確保に対して支援

- ・マイナンバーカード連携によるMaaS実装の推進
- ・自動運転の社会実装に向けた実証事業
- ・EVバス・タクシー導入 等



#### ● 共創モデル実証プロジェクト

- ・他分野共創に加え、官民・交通事業者間共創など、様々な関係者と共創して、地域一体となって取り組む各地の交通プロジェクトを支援
- ・地域交通・まちづくり人材の育成やスタートアップ企業の取組を支援



#### ● 事業再構築支援

有識者検討会提言などを踏まえ、以下の取組を支援

- ・ローカル鉄道の再構築協議会設置・実証事業等
- ・鉄道からバスへの転換 ・タクシーの利便性向上

### 2. 既存の地域交通支援に対する追加的な支援等

- ・生産性向上に取り組む地域の交通事業者に対する運行支援
- ・新たなバリアフリーの取組など公共交通におけるバリアフリー整備加速化
- ・地域鉄道における安全対策の推進 等

### 3. タクシー燃料価格の激変緩和対策

燃料価格高騰の負担軽減のため、LPガス（タクシー燃料）の価格の激変緩和対策を継続的に実施

## 鉄道局計上分 (29億円)

- ・地域鉄道における安全性向上に資する設備整備支援

## 観光庁計上分 (363億円)

### 4. 交通による観光地の高付加価値化・インバウンド受入環境整備

交通事業者が、観光事業者と連携して、地域交通を活用した観光地の魅力向上・高付加価値化を図る取組や、公共交通におけるインバウンドの受入環境整備を図る取組に対して支援

- ・ラッピング列車など地域交通を活用した観光イベントの開催、新規ツアー商品造成
- ・多言語対応のデジタルサイネージ、キャッシュレス決済設備導入 等



# 交通DX・GXによる経営改善支援事業

- 地方の鉄道・路線バスなどの地域交通は、地域の社会経済活動に不可欠。高齢化や免許返納等により、自家用車を運転できない人も増加。しかし、人口減少等による長期的な利用者数の落ち込みに加え、コロナ禍の直撃により、多くの事業者が厳しい経営状況。
- 今後、加速する少子高齢化、運転手不足やデジタル技術による移動需要の代替など、ポストコロナ時代の急速な社会構造の変化に対応して、**交通DX・交通GX**による利便性・持続可能性・生産性の向上により、経営効率化・経営力強化を図る。

## 交通DX・GXによる経営改善支援事業

地域の交通事業者による**地域交通のDX（デジタル・トランスフォーメーション）・GX（グリーン・トランスフォーメーション）**等を通じた経営効率化・経営力強化の取組に対する支援措置を講じる。

### 【支援対象】 補助率1/2

#### ○ 公共交通のGX化の推進に要する経費、新たな取組の実証運行に要する経費

- ・EVバス・タクシー導入
- ・太陽光パネル設置
- ・再エネ活用によるエネルギーマネジメント
- ・蓄電池・充電設備の共同利用 等



#### ○ 公共交通のDX化の推進に要する経費、新たな取組の実証運行に要する経費

- ・マイナンバーカード連携等によるMaaS実装
- ・AIオンデマンド交通
- ・GTFSによるバス情報標準化
- ・運行管理システム・配車アプリの導入
- ・自動運転（実証調査事業） 等



# 自動運転実証調査事業(交通DX・GXによる経営改善支援事業)

- 自動運転は、**Level 2** 相当の実証実験が各地で進んでいるところ、今後の技術進展や制度整備により、「**Level 4**」の取組が広がる事が期待されることから、ドライバー不足・地域モビリティの確保等の問題を抱える中、**自動運転技術を有するゲームチェンジャーが、小さな単位のコミュニティにおいて「地域の足」を支える主体として発展する可能性**がある。
- そこで、**前年度に引き続き**、地方公共団体が地域づくりの一環として行う**バスサービス**において、自動運転の活用と持続可能性（経営面、技術面、社会的受容性等）に関する実証事業として支援。

想定プロジェクト



## <対象事業者>

地方公共団体（市町村）及び道路運送事業者等  
 ※将来的に「レベル4」の自動運転関連技術を有することが見込まれる者であること。

## ○実証のポイント

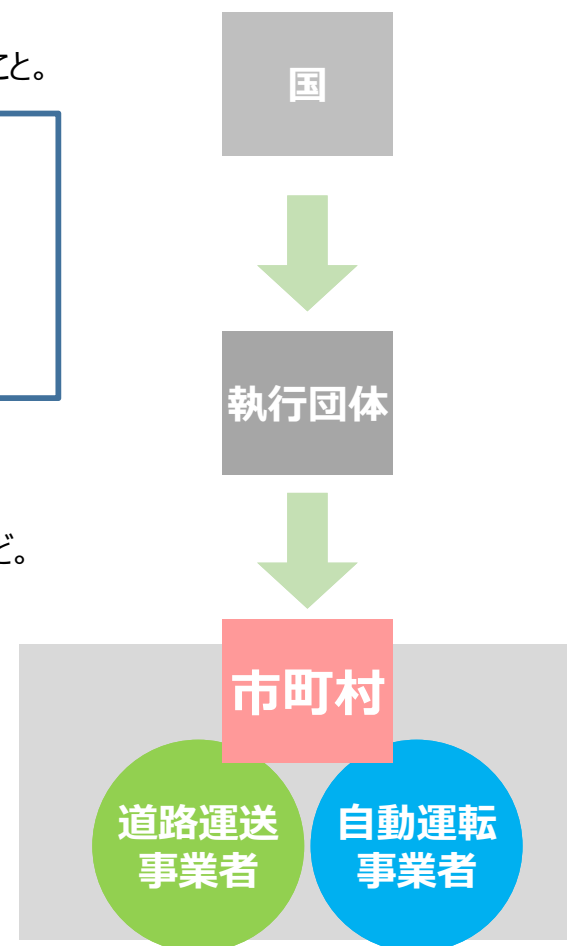
- ・自動運転による地域のモビリティ確保や財政的な持続可能性（公共交通のサービス形態・水準、事業実施に必要な体制・要員、資金調達や運賃）
- ・自動運転技術の経営面・技術面の妥当性・社会的受容性 等

## <補助対象経費>（定額補助）

- ・**事務経費、車両改造・自動運転システム構築費**  
 ※自動運転システムの開発、それに伴う車両改造、協議会・説明開催経費など。
- ・**実証運行の経費**  
 ※相当程度長期間にわたる運行を予定している場合に限る。

## <対象事業のイメージ>

- ・定時定路線型の自動運転移動サービス  
 ※ミニバス、カート等をイメージ
- ・域内の特定のポイント間で運行するデマンド型の自動運転サービス  
 ※乗用車をイメージ



<対象事業者>



# 共創モデル実証プロジェクト

- 交通を地域の暮らしと一体で捉え、行政や金融機関と連携して取り組む、様々な他分野（エネルギー、医療、教育など）との垣根を越えた「共創型交通」のプロジェクトに対し支援を実施（令和3年度補正予算で第1弾を実施）。
- 令和4年度補正予算において、第2弾の共創モデル実証プロジェクトについて要求し、全ての共創の取組に対象を拡大するとともに、地域交通・まちづくり人材育成支援や、スタートアップ企業支援を実施。

## 共創モデル実証プロジェクト

・交通を地域の暮らしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として、複数の主体が連携して行う取組を支援。実証運行の経費等を補助。

## プロジェクト第2弾（全ての共創・人への投資）【実証運行経費等の2/3を補助（上限1億円）】

- 第1弾では「葉の交通」における他分野共創の好事例が多数選定され全国で実施。

### 【プロジェクト第1弾の例：プロジェクト15地域採択（令和4年6月）】

- ・デジタル配車システムを活用したタクシー事業者による介護送迎受託
- ・習い事（スイミング教室、学習塾）コミュニティ内の親どうしの助け合い子供送迎サービスの実施
- ・ミニバスターミナル整備と、病院と連携した簡易健康診断や、貨客混載バスの運行
- ・買物や教育・エネルギー等、地域の暮らしのサービスと交通サービスを掛け合わせたサブスク 等

- 未選定事例にも、交通事業者間共創（エリア内交通のサブスク化）や、官民共創（まちづくりスマートシティ）など、他分野共創にとどまらない提案が多数応募。

- また、持続可能な地域交通の成功のカギは「地域交通・まちづくりと他分野を結び付けるコーディネート人材発掘」「若者スタートアップ企業との共創」との指摘あり。

- ➔ 他分野にとどまらず官民、事業者間共創など全ての共創の取組を広く発掘
- ➔ 地域交通・まちづくり人材育成支援や、スタートアップ支援を実施 等

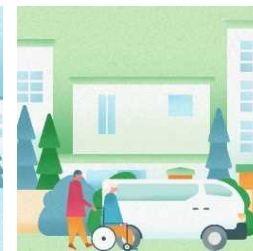
## プロジェクトイメージ

### <プロジェクト第1弾：他分野共創>【R3補正】

以下のような他分野と交通事業者の連携により、交通を地域で支える取組を行う地域をプロジェクトとして支援。事業費の2/3（上限2,000万円）を補助。



医療×交通



介護×交通



エネルギー×交通



住宅×交通



教育×交通



農業×交通

事業に関与

自治体・金融機関

立ち上げ支援5

共創モデル実証プロジェクト

# 交通連携型事業(地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化)

交通事業者が、地域の観光資源とタイアップし、観光イベントの実施、車両等の観光資源化・関連施設の高品質化等により、地域の集客力とアクセス性の向上を両立しつつ、**地域観光の高付加価値化**を目指す事業の取組について支援を行い、もって、観光地の魅力向上と交通事業者の高品質化の両立を図る。

## 支援スキーム

交通事業者が、地域の観光関係者と連携して、**観光地への誘客、地域内の周遊性の向上、観光地としてのブランド力の強化**に資するような取組等を支援。  
※いずれも観光地、観光施設、宿泊施設等の利用者増加や収益力向上の効果が見込めるものであること。

### 【観光事業者】(観光関係事業者等最低1者)



### 【交通事業者】(バス、タクシー、鉄道、旅客船事業者等最低1者)



## 支援事業例

事業費の1/2を補助 (イベント開催経費、企画乗車船券、プロモーション経費、実証運行、車両改造費等から複数メニューを実施)

### 【貸切バス・生活交通】

旅行会社等と連携した新規ツアーの実施



#### 【支援対象例】

- ツアープロモーション経費
- 旅行会社等と連携して造成する新規ツアーのために生じた運行経費 等

### 【生活交通】

宿泊施設等と連携した観光の足としての生活交通の活用



#### 【支援対象例】

- 宿泊施設と連携したダイヤ改正経費
- 実験期間中の運行費
- プロモーション費用 等

### 【イベント】

地域交通を活用した観光イベント開催



#### 【支援対象例】

- イベント列車改造経費
- イベント列車運行費
- プロモーション費用 等



# 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(公共交通)

○ 訪日外国人旅行者受入環境整備に積極的に取り組む地域において、公共交通機関におけるストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、多言語対応の強化、無料Wi-Fiサービスの提供拡大、キャッシュレス決済の普及、バリアフリー化の推進等に関する個別の取組を支援する。

## 交通サービスインバウンド対応支援事業

**補助率**  
1/3等

**事業主体**  
公共交通事業者等

### 多言語対応 (事故・災害時等を含む)



案内放送の多言語化



タブレット端末、携帯型翻訳機等の整備

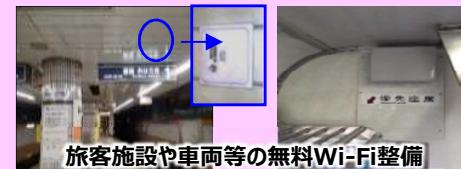


多言語バスロケーションシステムの設置



インバウンド対応型鉄軌道車両の導入

### 無料Wi-Fiサービス



旅客施設や車両等の無料Wi-Fi整備

### トイレの洋式化等



洋式トイレ、多機能トイレの整備

### キャッシュレス決済対応



全国共通ICカードの導入



QRコード・クレジットカード対応・企画乗車船券のICカード化



企画乗車船券の発行



レンタカーのキャッシュレス対応

### 非常時のスマートフォン等の充電環境の確保



非常用電源装置、携帯電話充電設備等

### 旅客施設や車両等の移動円滑化 (大きな荷物を持ったインバウンド旅客のための機能向上)



段差解消 (エレベーター)



LRTシステムの整備



インバウンド対応型バス・タクシーの導入



鉄道車両の荷物置き場の設置



ジャンボタクシーの導入



スロープ型タラップの整備



船内座席の個室寝台化

### 移動そのものを楽しむ取組や新たな観光ニーズへの対応



観光列車



魅力ある観光バス



サイクルトレイン、サイクルシップ

### 感染症対策



駅・車両の衛生対策

### レンタカーの外国人ドライバー支援



ドライブ支援アプリによる情報提供



外国の方が運転しています Heartful Friendship OkiNawa 専用ステッカーの普及

### バス・タクシードライバーへの外国語接客研修



※上記のほか、交通サービス調査事業 (訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査・利用促進等) 及び交通インバウンド環境革新等事業への支援を実施【補助率: 1/2, 1/3 (調査については上限1,000万円)】



## 参考資料2

# 他省庁等の地域交通に関連する補助金等について

---

# 他省庁等の地域交通に関連する補助金等について

## ＜厚生労働省＞ 介護予防・日常生活支援総合事業（R4年度予算額：967億円）

⇒ 訪問型サービスD（移動支援）（上記の内数）

### ＜サービス内容＞

- ・ 要支援者等が通院等をする場合における送迎前後の付き添い支援
- ・ 介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスや一般介護予防事業における送迎を別主体が実施する場合の送迎

### ＜想定されるケース＞

以下のケースは、当該サービスに位置付けられ、市町村が補助対象として国費とともに支援（国費は市町村に配賦）

※上記のサービスを行う者に対する補助であり、交通事業者への補助金ではない。

- ・ 市町村が、交通事業者が地域住民と連携して行う活動を補助し、道路運送法上の許可・登録を要しない運営方法による運行形態で送迎するケース

## ＜(株)地域経済活性化支援機構（REVIC）＞

○経営環境が悪化した事業者に対する事業再生支援及びファンドを通じた支援

＜事業再生支援例＞ 島原鉄道株式会社、宮崎カーフェリー株式会社・宮崎船舶有限会社

## ＜新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金＞（交付金総額約7.5兆円のうち約1,500億円\*）

○感染防止対策・運行支援・MaaS等の新たな地域交通体系整備等に対する支援

○令和4年4月に「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」（1兆円、4月に8,000億円を限度額通知）が創設され、活用可能な事業例として「鉄道・バス・タクシー・旅客船・航空など地域公共交通の経営支援」が例示。9月に「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」（6,000億円）が創設され、「地域公共交通や地域観光業等に対する支援」が推奨事業メニューに位置付け。

\* 交付金総額は、地方創生臨時交付金のうち、公共交通への支援に活用可能な地方単独事業分・事業者支援分等の合計。交通事業者を対象とした支援額約1,500億円は地方運輸局等より地方公共団体に聞き取り（令和4年7月29日時点）。

※上記の他、交通事業者への補助ではないが、文部科学省の「へき地児童生徒援助費等補助金」（R4年度予算額：6億円）において、都道府県・市町村に対して、へき地や過疎地域等の小中学校の児童生徒の通学条件の緩和を図るためのスクールバスの購入費等の補助を行っている。

# 参考資料3

## タクシーの利便性向上の取組例

---



# タクシーの利便性向上の取組例

## 1. 安積町内乗り放題定額タクシー（ヤマグチくん）

- ・ 運行者：郡山観光交通（株）、孫の手トラベル
- ・ 料金：月額1万円
- ・ 対象エリア：安積町内
- ・ 利用時間：10:00～17:00
- ・ 対象者：安積町在住者

※このほか、回数券プランも提供。  
 ※実証運行を経て、今春より本格運行。



▲実証運行時のチラシ

(出展) 第2回「地域に合った移動の仕組みづくり」シンポジウム資料より抜粋

## 2. 定額乗り放題タクシーサービス「タク放題」

- ・ 運行者：一般社団法人静岡TaaS
- ・ 料金：月額8000円(65歳以上)、10000円(65歳未満)
- ・ 対象エリア：静岡市街地北西部エリア
- ・ 利用時間：平日10:00～17:00

※本年7月より実証運行を開始。



(出展) 一般社団法人 静岡TaaS HPより抜粋 <https://www.shizuoka-taas.com/howtotakuhodai/>